

2022 年 8 月 31 日 SB エナジー株式会社

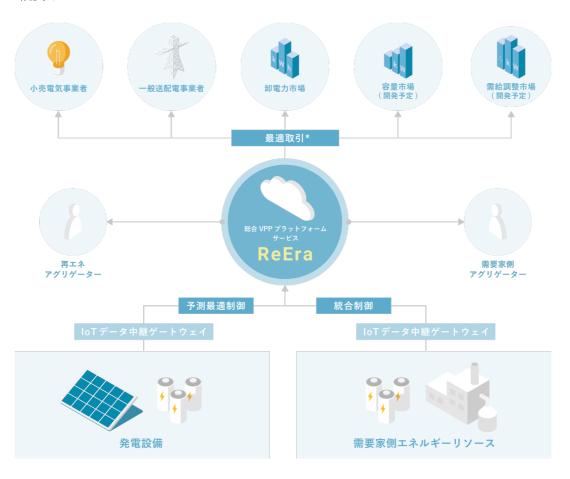
総合 VPP プラットフォームサービス 「ReEra」の提供を開始

ソフトバンクグループの子会社で、自然エネルギー事業などを行う SB エナジー株式会社(エスビーエナジー、本社:東京都港区、代表取締役社長:三輪 茂基、以下「SB エナジー」)は、総合バーチャルパワープラント(以下「VPP」)プラットフォームサービス「ReEra®(リエラ)」を、本日から提供開始します。

SBエナジーは平成28年度から、自然エネルギーの普及促進と利用率向上施策の一環としてVPP構築実証事業に取り組んできました。令和3年度にはフィード・イン・プレミアム(以下、「FIP」)制度および再生可能エネルギー発電設備や蓄電池等(以下「DER*1」)の普及を見据えて、DERを東ねて集約した電気の自社活用や、取引市場等への入札、小売電気事業者等に提供するアグリゲーションビジネスの実用化に向けた実証事業を行っています。

※1 Distributed Energy Resources の略で、需要家の受電点以下に設置されるリソースに加えて、系統に直接接続される発電設備、蓄電設備等の分散型エネルギーリソースを総称するもの。

■ReEra 概要イメージ

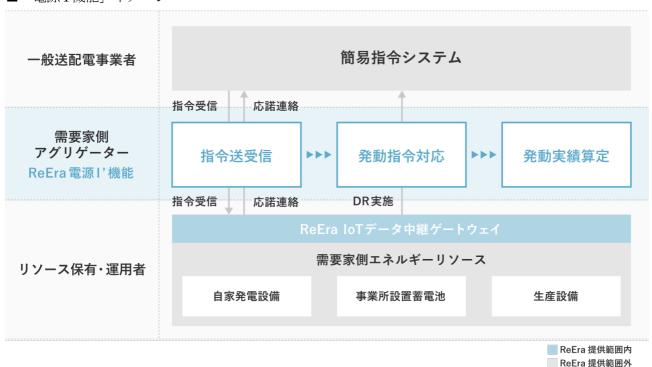


ReEra は、SB エナジーが VPP 構築実証事業を通じて培った VPP プラットフォームシステムの構築運用 ノウハウを生かし、蓄電設備や需要家側エネルギーリソースを統合制御してディマンドリスポンス(以下 「DR」)を提供する需要家側アグリゲーターと、2022 年 4 月から開始した FIP 制度の下で、太陽光発電などの再生可能エネルギー発電設備や蓄電設備を統合制御し、発電インバランスの低減や各種電力市場での最適取引等のサービスを行う再エネアグリゲーターが双方向で利用可能な機能群を SaaS 形式で提供する総合 VPP プラットフォームサービスです。ReEra のプラットフォーム上で、 現地に設置する IoT データ中継ゲートウェイを介して DER を統合制御し、電力の最適取引行うことで、DER の収益化や発電バランシンググループにおける計画値同時同量の最適化、小売電気事業者の電源調達コスト最小化、需要家の電気料金削減を実現し、需要家側アグリゲーターと再エネアグリゲーター双方の VPP 活用を支援します。

ReEra が提供する主な機能は以下の通りです。

(1) 電源 I'機能^{※2}: 需要家側アグリゲーター向けサービス

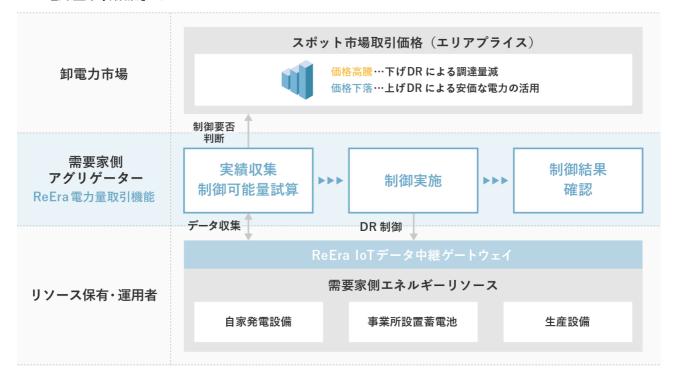
■「電源 I'機能」イメージ



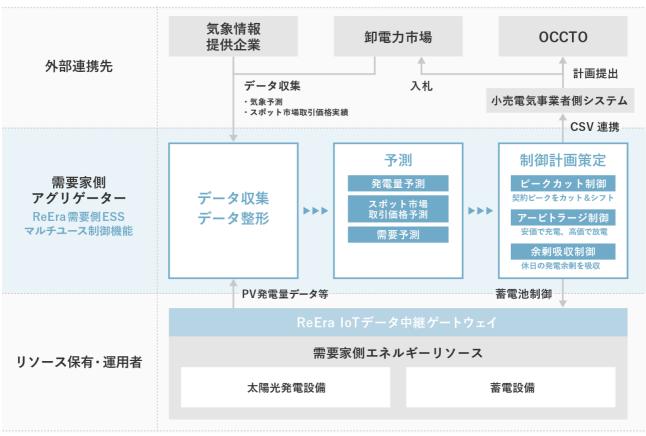
(2) 電力量取引機能:需要家側アグリゲーター向けサービス

計画値同時同量の達成と収益最大化を目的に、小売電気事業者が契約先の需要家から上げ DR と下げ DR を調達するための機能です。小売電気事業者は DR の調達により、調達コストの低減が可能となります。

■「電力量取引機能」イメージ



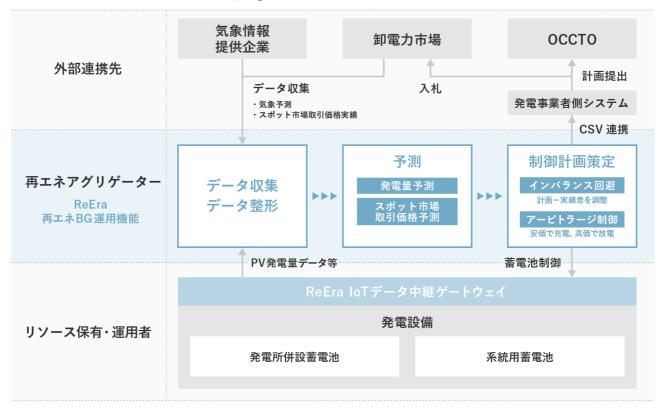
- (3) 需要側 ESS マルチユース制御機能:需要家側アグリゲーター向けサービス 需要家側に設置される太陽光発電設備や蓄電池向けに、機械学習モデルや統計モデルによる予測技術、経済効果を最大化させるマルチユース制御技術をパッケージで提供する機能です。需要家側エネルギーリソースの最適制御により、小売電気事業者の調達コスト削減と需要家の電気料金削減を両立します。
- ■「需要側 ESS マルチユース制御機能」イメージ



(4) 発電バランシンググループ運用機能:再エネアグリゲーター向けサービス

発電事業者側に設置される太陽光発電設備や蓄電池向けに、機械学習モデルや統計モデルによる予測技術と、経済効果を最大化させるマルチユース制御技術をパッケージで提供する機能です。最適制御により、発電インバランスの最小化と市場収益の最大化を実現します。

■「発電バランシンググループ運用機能」イメージ



SB エナジーは自然エネルギーの時代を加速する総合 VPP プラットフォームサービス「ReEra」の提供を通じて、さらなる自然エネルギーの普及拡大を目指します。

■総合 VPP プラットフォームサービス「ReEra」ウェブサイト https://www.sbenergy.co.jp/ja/business/reera/

● SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。